

ヒューストン市経済交流公式訪問

ノースバンクーバー市姉妹都市提携 40 周年記念公式訪問

報 告 書

平成 22 年 10 月 31 日（日）～平成 22 年 11 月 6 日（土）



ヒューストン市（調印セレモニー）

ノースバンクーバー市（表敬訪問）



千葉市経済農政局経済部経済企画課

千葉市総務局市長公室国際交流課

千葉市公式訪問団員

千葉市長 熊谷俊人

千葉市議会議長 茂手木直忠

市長公室長 大木正人

経済部長 皆川達也
(ヒューストン市経済交流)

国際交流課長 鈴木栄一

経済企画課 木元恒喜
(ヒューストン市経済交流)

千葉市公式訪問団日程表

日 付	時 刻	場 所	スケジュール
10月31日 (日)	10:45 (日本時間)	成田空港集合	シカゴ経由でヒューストンへ出発
	13:30 (以下米国 中部時間)	ヒューストン国際空 港着	ヒューストン国際空港着
	15:30	ヒューストン自然史 博物館	ヒューストン自然史博物館視察
	18:00		ヒューストン市国際貿易及び開発課主催夕食会
11月1日 (月)	10:10	ヒューストン市役所 市長応接室	アニス・パーカーヒューストン市長表敬訪問
	10:30	ヒューストン市役所 広間	ヒューストン市と経済交流に関する姉妹都市提携 附属書に署名、ヒューストン・テクノロジー・セン ター（HTC）と経済協力に関する協定書に署名
	11:30		ヒューストン市主催ランチレセプション
	13:00	JETRO ヒュースト ンセンター	JETRO ヒューストンセンター表敬訪問
	13:30	グレーターヒュース トンパートナーシッ プ（GHP）	GHP 表敬訪問
	15:30	ヒルトンアメリカス ホテル	ヒューストン・コミュニティ・カレッジ ガリオト ス教授と面会
	17:30	チャールズ・ミラー氏 宅	ヒューストン市・HTC 共催レセプション
	19:30	デイリー夫妻宅	ヒューストン日米協会主催夕食会
11月2日 (火)	8:30	HTC	HTC を訪問し、施設の説明を受けた後、千葉市、 HTC、JETRO、バイオヒューストン共催のビジネ スセミナーを開催
	13:30	MD アンダーソン癌 センター	MD アンダーソン癌センター視察
	15:15	ハーマンパーク日本 庭園	ハーマンパーク日本庭園を視察
	16:15	ジョージ・R・フラウ ンコンベンションセ ンター（GRB）	GRB を訪問し、意見交換を行う
	18:30	ヒューストン総領事 公邸	在ヒューストン日本国総領事館と千葉市の共催に よる答礼レセプション
11月3日 (水)	9:40	ヒューストン国際空 港	バンクーバー国際空港に出发（シアトル経由） 市長、議長、市長公室長、国際交流課長
	9:40	ヒューストン国際空 港	成田空港へ出発（ロサンゼルス経由） 経済部長、経済企画課主任主事
	14:34	バンクーバー国際空 港着	ノースバンクーバー滞在 市長、議長、市長公室長、国際交流課長

	15:00	移動	ノースバンクーバー市出迎え 空港からホテルへ
	18:30 19:00	宿泊ホテル内 市内ホテル宿泊	レセプション（NV主催） ノースバンクーバー市主催歓迎夕食会（ホテル内）
11月4日 （木）	9:00	ホテル出発	ミニバス（NV用意）
	9:15	ノースバンクーバー 市役所	ノースバンクーバー市役所表敬訪問 RCMPカラーガード（バンドの演奏） 来訪者記念書にサイン 記念写真撮影 軽食
	10:15	ノースバンクーバー 市役所	事業プレゼンテーション ・自転車マスタープラン ・ウォーターフロント開発 ・スピリット・トレールツアー ・グリーン・ネックレス 現地視察：自転車道、港湾地区等
	12:30 14:00	昼食	ノースバンクーバー市主催
	14:00	ノースバンクーバー 市内	ロンズテールエネルギー会社 温室効果ガス排出プレゼンテーション 現地視察：工事現場、日本庭園等
	18:30		千葉市主催答礼レセプション
	21:00	市内ホテル宿泊	
	16:25 （日本時間）	成田空港	成田着 経済部長、経済企画課主任主事
11月5日 （金）	10:45	ホテル出発	バンクーバー空港へ
	12:00	バンクーバー国際空 港へ	
	14:55	バンクーバー国際空 港	成田空港へ出発
11月6日 （土）	17:25 （日本時間）	成田空港	成田着

訪問日程の概略

10月31日

午後1時30分 ヒューストン国際空港に到着

- ・ヒューストン市役所テレンス・オニール氏、HTC フィリップ・フレアー氏、在ヒューストン日本国総領事館大澤勉総領事、米澤篤副領事に、降機出口で出迎えを受ける。その後、ヒューストン市が手配してくれた車両により移動。

午後3時30分 ヒューストン自然史博物館視察

- ・同館では常設展及び特別展を行っている。訪問時はシルクロード展、ガルベストーン（ヒューストン近郊の都市）展、海賊展の計3つの特別展を行っていた。



蝶の展示室内の蝶



ボランティアのガイドから博物館の説明を受ける

- ・蝶の展示室では展示室に熱帯の気候を再現。50～60種類の蝶を常に1500～1600匹展示している。蝶の寿命はそれぞれ2週間ほどなので、常に入れ替えを行っている。
- ・館の案内はボランティアのガイドで、自然史博物館にはおよそ450名、別館2館にそれぞれ120名、40名のガイドがいるとのこと。

午後6時 ヒューストン市国際貿易及び開発課主催夕食会

- ・出席者
テレンス・オニール ヒューストン市国際関係業務課長
ヘレン・チャン ヒューストン市市長室国際貿易及び開発課長
マシュー・シャイラー ヒューストン市市長室国際貿易及び開発課職員
ドナ・コール氏
サカシタ・ミワ氏
米澤篤 在ヒューストン日本国総領事館副領事



夕食会の記念写真 中央がヘレン・チャン氏

11月1日

午前10時10分 アニス・パーカーヒューストン市長を表敬訪問

- ・ 両市長の挨拶
- ・ 千葉市としては、医療産業の分野を中心に交流していきたい。
- ・ テキサス・メディカルセンターで技術交流を行っている。特にナノテクを推進している。
- ・ 千葉市はヒューストン大学やライス大学との交流を推進して欲しい。
- ・ ヒューストンは石油、天然ガスなどの産業から環境産業への転換を目指している。
- ・ 千葉市の環境関連の企業を推薦したい。



- ・ 記念品交換 千葉市からは千葉市を描いた北斎の浮世絵「富岳三十六景 登戸浦」を贈呈、ヒューストン市からはロデオ像を受贈した。
- ・ 表敬訪問の最後に、ヒューストン総領事の任期を終えウィーンへの赴任が決まっている大澤総領事に対して、パーカー市長から名誉市民証が授与された。

アニス・パーカー市長を表敬訪問

午前10時30分 ヒューストン市役所一階広間にて調印式



ヒューストン市、HTC との間で文書に署名

- ・ パーカー市長、熊谷市長、ウルリック HTC 代表兼 CEO がそれぞれ挨拶。
- ・ 市議会からマイク・サリバン議員（国際貿易担当）、ヨランダ・ヨ・ジョーンズ議員（国際交流担当）がそれぞれ立会人として署名式に出席した。
- ・ ヒューストン市との間で「千葉市とヒューストン市の姉妹都市提携における、経済発展分野の附属書」に調印。
- ・ ヒューストン・テクノロジー・センター（HTC）との間で「千葉市とヒュース

トン市の姉妹都市提携における、経済発展分野の附属書に基づく相互協力協定書」に調印。

- ・ 調印式後、昼食までの空き時間に市議会議場を見学。
- ・ 議場奥の半円形のスペースに 14 名の議員と市長が着席。市長は議場の中央に座り、議長を兼ねる。市長自身にも議決権がある。
- ・ 執行部による説明は基本的には行われない。必要な時には上記半円形のスペースの空席部分に執行部が着席し、説明を行う。



市議会議場 市長が中央に着席する

午前 11 時 30 分 ヒューストン市主催昼食会
出席者

アニス・パーカーヒューストン市長

アンドリュー・イクン ヒューストン市開発局長

テレンス・オニール ヒューストン市国際関係業務課長

デアナ・レフロア ヒューストン国際儀典局局長

レズリー・サンタマリア ヒューストン国際儀典局職員



昼食会で談笑する熊谷市長とパーカー市長

ウォルター・ウルリック HTC 代表兼 CEO
フィリップ・フレアー HTC アジア会長
グレッグ・クロウ ヒューストン日米協会会長
ゲーリー・ナカムラ ヒューストン日米協会姉妹都市担当
大澤勉 在ヒューストン日本国総領事
米澤篤 在ヒューストン日本国総領事館副領事

午後 1 時 JETRO ヒューストンセンターを訪問

- ・ JETRO ヒューストンセンターの木村所長を訪問。意見交換
- ・ 今回の千葉市長のヒューストン訪問に際し、多大な協力をいただいていることに対して感謝する。
- ・ テキサス州は企業への規制が少なく、また、法人税がないため、日本企業の北米進出先としてもっと注目されるべき。



JETRO ヒューストンセンター木村所長と

午後 1 時 30 分 グレーター・ヒューストン・パートナーシップ (GHP) を訪問

- ・ 出席者
GHP ジェフ・モズレー会長
GHP ハビエ・ハティヴァ中南米部長
ヒューストン港湾公社 ジム・エドモンズ会長
- ・ GHP に対し、千葉市から進出した企業への支援及び千葉市進出に興味のある企業の特定を依頼。



GHP 会長室にはヒューストン港からの航路を示した地図があり、行先の一つに千葉港も含まれていた

- ・ ヒューストン港湾公社から、ジム・エドモンズ会長が出席。パナマ運河の拡張工事が 2014 年に終了するので、それによってヒューストン港の価値が高まるとのこと。
- ・ ヒューストン港湾公社からアジア地域に所在するヒューストンの姉妹都市等との貿易を増やしたいとの要望

- を受ける。相手は千葉市、上海、台湾、香港、シンガポール、インドであるとのこと。
- ・ ヒューストンは人口が急速に増えていて、近い将来シカゴを抜いて全米 3 位の大都市になると言われている。
 - ・ ヒューストン港には太平洋航路・パナマ運河を通過してたくさんの船が入港している。ヒューストン港で荷揚げされた貨物は、米国内陸部に広く輸送されている。
 - ・ 米国最大のスーパーマーケットチェーンであるウォルマートが毎週木曜日にヒューストン港から大量の荷物を陸揚げしている。
 - ・ 日本から西海岸の港には 14 日間、ヒューストン港には 21 日間で到着するが、西海岸の港は大変混雑していて荷揚げを待たされることとロッキー山脈を越えての陸上輸送に手間と時間が掛かることから、到着日数に 7 日間の差があったとしてもヒューストン港には競争力がある。
 - ・ 特にシカゴ近辺の内陸部からは西海岸の港を使用した場合と比べ陸上の輸送距離が半分程度になるため、経費削減に繋がる。
 - ・ 貨物輸送で最も安価なのが船、次が鉄道、その次がトラックである。
 - ・ パナマ運河が開通する 2014 年までに千葉港とヒューストン港との間で何らかの交流の成果を打ち出したいとの提案を受けた。

午後 3 時 30 分 ヒューストン・コミュニティ・カレッジ ガリオトス教授と面会

- ・ ガリオトス教授は千葉市のリサイクルへの取り組み、特にごみ焼却に液化天然ガスを加えたスーパーごみ発電に興味があるとのこと。
- ・ 千葉市の大学、短大と連携して学生を 1 学期間交換して相互に単位を認定しあう、職員の交換を行うなどの提案を受けた。
- ・ ヒューストン・コミュニティ・カレッジのエネルギーセンターの紹介 DVD を受領。
- ・ ヒューストン・コミュニティ・カレッジでは、企業に即戦力として雇用されるための専門知識、技術を学生に与える他、更なる高等教育を受けることを希望する学生に対しての基礎的な教育を提供する。
- ・ 特に環境技術論を学生に学ばせたい。企業と大学の連携による環境技術開発の事例を紹介してほしい。

午後 5 時 30 分 ヒューストン市・HTC 主催レセプション

- ・ チャールズ・ミラー氏の自宅でレセプション。ミラー氏は元 GHP 代表でテキサス大学の役員も務めたヒューストン市の名士
- ・ アンドリュー・イクン ヒューストン市開発局長がヒューストン市を代表して挨拶
- ・ ウォルター・ウルリック HTC 代表兼 CEO が HTC を代表して挨拶



アンドリュー・イクン開発局長がヒューストン市
を代表して挨拶

午後 7 時 30 分 ヒューストン日米協会主催夕食会

- ・ ラバール・デイリー夫妻の自宅での夕食会
- ・ デイリー夫妻は日米協会会員として千葉市とヒューストン市の姉妹都市交流に尽力してくださっている。



夕食会に出席した皆様と 前列で市長の隣に座っているのがデイリー夫妻

11 月 2 日

午前 8 時 30 分 HTC を訪問

- ・ ウルリック代表兼 CEO の案内により、HTC の説明を受ける。
- ・ HTC には 60 社の企業が入居しているが、HTC の建物内にオフィスを構えているのはその内 12 社。他の会社はテキサス・メディカル・センター内など、それぞれのビジネスにとって都合の良い場所にオフィスを構えている。
- ・ 入居企業の一社、スマートパイプについて紹介を受ける。同社は石油や液化天然ガスのパイプラインや石油化学プラントなどで使われている老朽化したパイプの補修を行っている。同社の技術はパイプを掘り起こしたり取り外したりするのではなく、パイプを内側から補強することに特徴がある。更に、補強の際に光ファイバーをパイプ内に通す

ことにより、補修後にパイプに異常が起こった場合、光ファイバーが傷つくので異常箇所を即座に特定できるようにすることにも特徴がある。



HTC の会議室で施設の説明を受ける

- HTC には複数個の会議室があり、入居企業が無料で使用できる。創業後間もない企業にとって、取締役会を行う場所を確保するのは難しいことなので、そうした企業に喜ばれている。
- HTC 内にパソコン研修室があり、入居企業が IT の研修を受けることができる。この研修室で使われているパソコンは、ヒューレッド・パッカード社から寄付されたものであるとのこと。
- HTC の空室となっているインキュベーション室の紹介を受ける。その部屋に入居していた企業は事業の成長によりオフィススペースが手狭になったため、2週間前に HTC を卒業したとのこと。ウルリック代表兼 CEO にとっては、卒業企業が抜けた後の空室を紹介することが最も誇らしいことであるとのこと。
- 卒業した企業はリーズニングマインドという会社で、3年生から7年生（日本の小学校三年生から中学1年生）を対象とした算数と理科の教育プログラムをデザイン・販売している会社であるとのこと。

午前9時20分 HTC、バイオヒューストン、JETRO、千葉市共催の対日投資セミナー



セミナー冒頭で挨拶する熊谷市長

- HTC の生命科学部門責任者のデボラ・マンズフィールド氏がプレゼンテーションを行った。
- バイオヒューストンの代表兼 CEO であるジャクリーン・ノースカット氏がプレゼンテーションを行った。ヒューストンにはバイオ分野での大学が連携する会議体があるとのこと。
- 投資コンサルタントであるリチャード・ロウエンサル氏が日本とアメリカの医薬品承認手続きの違いについてプレゼンテーションを行った。

- ・ 皆川経済部長が千葉市及び千葉市の企業についてプレゼンテーションを行った。
- ・ **JETRO** ヒューストンのトーマス・コーニー氏がプレゼンテーションを行った。コーニー氏は過去に**JETRO**の研修プログラムで千葉市を訪れたことがあり、その際に松井市長と一緒に撮った写真をプレゼンテーションのスライドに使用していた。



皆川経済部長のプレゼンテーション

11時45分 HTCで昼食

- ・ 出席者
 ウォルター・ウルリック HTC 代表兼 CEO
 フィリップ・フレアー HTC アジア会長
 デボラ・マンスフィールド氏
JETRO 島田氏
 ヒューストン総領事館 米澤副領事

午後1時30分 MD アンダーソン癌センター

- ・ 出席者
 スズキ・カズミチ医師
 デビッド・グロッサンス医師
- ・ MD アンダーソン癌センターの附属施設である、陽子線治療所を視察。
- ・ 陽子線を用いた治療の最大の特徴は、陽子線が止まるということ。X線の場合は腫瘍部位を貫通して正常な組織にも大きく影響が及ぶのに対して、陽子線は腫瘍が存在する深さまでで止めることができる。
- ・ 陽子線治療は、角度、強さ、形状を決めることにより、正常組織へのダメージ



鈴木医師からのプレゼンテーション

- ジを最小限に抑えつつ腫瘍を治療することが出来る。
- ・ 治療は月曜日から金曜日に行われ、土曜日には翌週の治療の準備、日曜日には機器のメンテナンスが行われる。
 - ・ 陽子線治療所はテキサスメディカルセンターの外れに位置しているが、MD アンダーソン癌センターの患者がここに移動してきて陽子線治療を受ける。
 - ・ 放射線医学総合研究所のような、重粒子線による治療を行っている機関とも今後連携をしたいと考えている。
 - ・ 重粒子線、陽子線両方の研究を行い、それぞれの長所短所を把握して患者に応じて使い分けることが出来るようになるのが最も望ましい。
 - ・ 前立腺がんに対しては、陽子線治療が最も優れた治療方法であると考えている。
 - ・ 肺癌に対しては進行がんでも陽子線治療を行う。
 - ・ 陽子線治療は高額であるという一般的な認識があるが、実際には化学療法よりも安価である。
 - ・ 州外の医療機関との交流をどのように行っているか、という質問に対するグロッサンス医師の答えは、「医師の交換、患者を互いに紹介しあうなどの交流を行っているが、一番の交流は学会の場でアピールすること。」というものであった。

午後 3 時 15 分 ハーマンパーク日本庭園

- ・ ハーマンパーク入口から徒歩 5 分ほどの場所に日本庭園がある。
- ・ ジャパンフェスティバルは日本庭園の前で開催される。2010 年のフェスティバルではたこ焼きを販売し、大変好評だったとのこと。近日中に 2011 年のフェスティバル開催に向けた会議を行うので、その場で千葉市からフェスティバルに何らかの形で参画出来るような提案をして欲しいとの要望を受けた。
- ・ 日本庭園保存会のミナミ・クニオ氏から日本庭園についての解説を受ける。
- ・ 日本庭園入口の「日本庭園」の文字は



千葉市寄贈の雪灯籠の前で

- 海部俊樹元総理大臣の揮毫。
- ・ 日本庭園内には茶室もある。
- ・ ヒューストン市内に国の名前を冠した庭園を持っているのは日本だけで、中国、韓国など他の国の関係者から羨ましがられている。
- ・ 千葉市が寄贈した雪灯籠が茶室と池を挟んだ向かい側にある。
- ・ 千葉市が派遣した庭師及び南氏らの指導を受けて庭園の管理を行っているヒュースト

ン市役所の公園管理部局のスタッフも視察に同行して下さった。

午後 4 時 15 分 ジョージ・R・ブラウンコンベンションセンター (GRB) 訪問

出席者

ルーサー・ピラゴメス事務局長

デビッド・オスターホート運営課長

ジョン・ゴンザレス来客イベント課長

- 施設を歩いて説明を受ける。訪問当日は国際キルト展が開催されていた。同展は GRB を代表する展示会の一つで、業者部門と一般部門に分かれ計 2 週間に渡って開催されるイベントであるとのこと。
- 施設間交流に当たっては、コンベンションビューローを通しての交流も検討すべきだとの提案を受ける。
- コンベンションセンターでのイベントの後に来場者を惹きつけるアトラクションはあるか、という質問に対するピラゴメス氏の答えは「ショッピング、博物館、野球、バスケットボールなどのアトラクションがある他、センターの向かいにある公園でイベントを行うこともある。」というものであった。
- GRB が他のコンベンション施設との競争に勝つために行っていることは何かという質問に対するピラゴメス氏の答えは「GRB はビジネス街の中心にあるので、ビジネス関係の会議を開催するのに適している。空港へのアクセスの良さも売りである。」というものであった。
- GRB としては、幕張メッセとの施設関連系に興味を持っているので、今後、具体的な話し合いを進めていきたいとのこと。



ルーサー・ピラゴメス事務局長より GRB の説明を受ける

午後 6 時 30 分 在ヒューストン日本国総領事公邸でのレセプション

- このレセプションは千葉市と総領事館の共催であるため、開始時間 30 分前の午後 6 時に会場入りし、熊谷市長、茂手木議長がレシービングラインに入って出席者の出迎えを行った。



レセプション会場入り口にて招待客を出迎える熊谷市長、茂手木議長、大澤総領事

- ・ 総領事館からは職員の方々がレセプションに出席し、受付、写真撮影、司会などレセプション運営全般に渡って支援していただいた。



レセプションの最後に出席者一同で記念撮影

11月3日 ヒューストン市からノースバンクーバー市へ
ヒューストン市からシアトル経由にてバンクーバー空港へ 午後2時30分頃到着。



- ・ シアトル空港～バンクーバー空港間はプロペラ機にて移動

- ・ バンクーバー空港ではトレンスタム行政官、須藤通訳他の出迎えを受けた。目印となる看板の大きさに歓迎ぶりが伺えた。



- ・午後 6 時 30 分からノースバンクーバー市主催の歓迎レセプションがあり、30 分程度、ウェルカムドリンクを片手に、思い思いに自己紹介を行った。その後、着席による夕食会が開催され、ダレル・ムサット市長による歓迎の挨拶や、熊谷市長による挨拶が行われた。夕食会では 3 テーブルに分かれていたものの、どのテーブルも和やかな雰囲気、終了は午後 10 時近くになった。
- ・歓迎レセプションにはムサット市長、議員、行政関係、ライオンズクラブ関係者、さらにバンクーバー日本国総領事館の伊藤総領事及び事務官が出席。

11 月 4 日 ノースバンクーバー市滞在



- ・午前 9 時 15 分にノースバンクーバー市役所カンファレンスルームにて表敬訪問を実施。
- ・ダレル・ムサット市長による歓迎挨拶と熊谷市長による挨拶を行う。

- ・ノースバンクーバー市訪問者記念書にサインを行った。この訪問者記念書には歴代の千葉市長の名前も記載されている。



- ・その後、記念品の交換を行った。記念品はノースバンクーバー市側が訪問者へのベストと木彫りの民芸品、千葉市側は登戸浦の浮世絵、チーバ君人形、千葉のお酒「千の舞」。



- ・また、茂手木議長より出席者の男性にはネクタイとバッジ、女性にはハンカチとバッジをプレゼント。
- ・地元新聞社の取材も受けた。

- ・表敬終了後、市役所庁舎の案内をうけ、千葉市寄贈の時計、図書館等を視察し、カンファレンスルームにてノースバンクーバー市が取り組んでいる施策のプレゼンテーションを受ける。



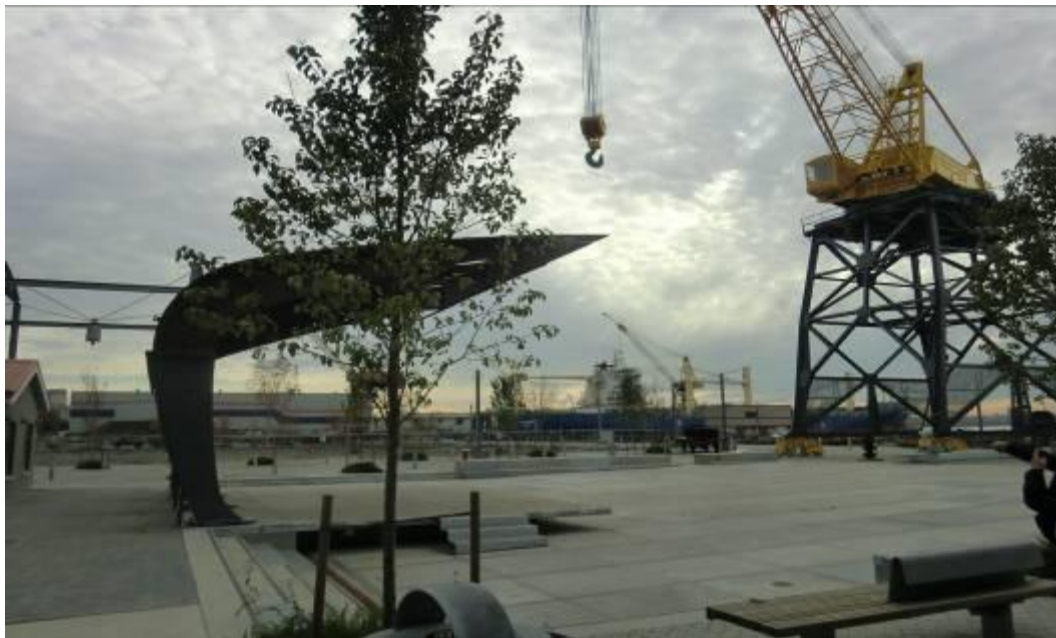
- ・自転車マスタープラン
- ・ウォーターフロント開発
- ・スピリット トレール ツアー
- ・グリーン ネックレス 等

- ・ノースバンクーバー市は自転車道路整備に力を入れており、既存の道路に自転車専用レーンを設置する整備を実施中。



- ・自転車ウィークや自転車マンスを設定し、市全体で自転車通勤等を実施する施策を実施とのこと。
- ・11時過ぎから現地を視察。自転車専用レーンや混合レーンの色別による違い等を視察。
- ・歩道やグリーン地帯の整備の状況等を視察。また、ごみ箱においては、クマ対策等のため、地中深く埋設しての設置等工夫状況も視察。

- ・ウォーターフロントにおいては、老朽化したドックヤードの整備を視察。古く老朽化した施設を単に壊すことなく、モニュメント等として再利用を図るなど、都市計画での考え方が参考になる視察であった。



- ・また、ノースの都市計画では集合住宅を推奨しているが、その背景には車の使用を減らす、エネルギーの消費量を減らす、職住接近により移動距離を少なくする、等によりエネルギーの減に結びつけるとの考え方である。
- ・午後0時30分ころより昼食。ムサット市長も同席。
- ・午後2時00分よりロンズデールエネルギー会社の取組の視察。工事中の道路や温水供給システムの説明を受ける。
- ・ただし、現在は個人宅に温水施設の供給は行っておらず、集合住宅に限っているとのこと。供給を受けるためには工事費等の負担があり、若干、課題が残るものと思われる。
- ・ノースの取組では省エネルギー化と温暖化対策が基本に置かれている。



- ・その後、日本庭園を視察し、ヒューストンで実施したような庭園整備とマニュアルの作成について提案。



- ・最後の視察はバンクーバー市とノースバンクーバーを船で結ぶ航路を視察。ノースからバンクーバー市への通勤・通学、買い物等の足となる船に乗る。バンクーバー市側にバスで移動してから乗船し、ホテルの至近距離にある船着場にて下船。そのままホテルへ。



- ・午後 6 時 30 分からホテルの近所にあるレストランにて千葉市主催の答礼レセプションを開催。
- ・ムサット市長は地元商工会議所の総会があるにも拘わらず、レセプションの冒頭に、ロッテマリーンズのユニフォームを着て出席をいただいた。その後、総会に出席し、また答礼レセプションに戻るという、忙しい行動であった。
- ・レセプションにはムサット市長、議員、行政関係、ライオンズクラブ関係者、さらに、前日に引き続き、在バンクーバー日本国総領事館の伊藤総領事及び事務官にご出席いただいた。

11 月 5 日 帰国日

- ・帰国日は市役所のあるノース市街から車で、10 分ほどで行くことができるレインフォレスト内のキャピラノ吊橋、グラスマウンテン等を経由してバンクーバー国際空港へ。

<ノースバンクーバー市視察について>

- ・姉妹都市提携 40 周年の公式訪問は、ノースバンクーバー市のご協力により実施することができ、大変感謝の念に堪えない。
- ・今回の訪問により、友好親善という最大の目的が達成されたこと、また、ノースバンクーバー市が取り組みを進めている、自転車政策、省エネルギー化施策、都市計画につい

て参考になる事業が数多く見受けられた。

- 現地ライオンズクラブとの懇談で、現在実施している青少年交流について、引き続き協力体制の維持が確認された。
- ノースバンクーバー市は風光明媚で、港湾を臨む市街地の景観や、市街地から10分ほどで大自然を満喫できる場所に行けることなどから、観光交流の可能性を感じさせる場所である。
- また、千葉市民がノースバンクーバーを訪問した際には、特典をいただけるとの約束をしていただいた。検討課題とする。
- ノースバンクーバー市では市長はじめ、市議会議員、ライオンズクラブ等、すべての方々から暖かい歓迎を受け、姉妹友好都市としての存在を改めて感じた。
- 2泊3日という短い滞在期間であるが、内容の濃い訪問となった。